

亀岡の名木「天上の木」に



大内神社のスギ(東本梅町)

丹波国分寺のイチヨウ(千歳町)

京都府は、「森の京都」エリア(亀岡市、南丹市、京丹波町、福知山市、綾部市、京都市右京区京北)において、

単なる木にはない魅力を持ち、勇気や癒し、感動を与えてくれる「天上の木」を募集しました。応募数162件の中から、応募者のエピソードや木の希少性などの観点で選定した36件、選考委員会からの推薦木4件(合計40件)を「天上の木」に選定し、さらにインターネット投票により「10選」が決定。そしてこの「10選」の中に、亀岡市の「丹波国分寺のイチヨウ」(千歳町)と「大内神社のスギ」(東本梅町)が選ばれました。

「丹波国分寺のイチヨウ」は、樹皮が鍾乳石のようにいくつも垂れ下がり、歴史と生命力を感じさせてくれます。応募者からは「触ると力がみなぎってきます。心の

支えになる木です」とコメントが寄せられています。「大内神社のスギ」は、田園風景の中に堂々とそびえ、時代劇の舞台としてたびたび銀幕に登場しています。応募者は「自然の風景に溶け込み、パワーを感じさせます」と、その印象を語っています。今回選ばれた「10選」の木は、森の京都博ホームペー

市民! 活だいま 活躍中!!

朝市で包丁研ぎ

西脇 安信さん(内丸町)

今号から、ふるさと亀岡のまちで活躍されている市民の皆さんが活動されている様子を、不定期連載で紹介していきます。

西脇安信さん(85歳)は、南郷公園で開催される「ふれあい二八市」で、4年前に包丁研ぎを始められました。以降、さらに人が集まり、まちなぎわい創出につながることはできない。

▲朝市で包丁を研ぐ西脇さん(下矢田農業センター、8月21日)

いかと、千代川町、大井町、下矢田町、曾我部町で行われている朝市においても行うようになりました。料金は包丁1本につき100円ですが、社会のために役立てたいと、収益はすべて盲導犬総合訓練センター(曾我部町)に寄付されています。

西脇さんは、「包丁の切れ味が戻り、喜んでもらえる」と励みになります。技術系の仕事を長年やってきたことが、少しでも役に立つと嬉しいです。「他にも、俳句や川柳を仲間と共に詠むことが楽しみです。馬路町で新しく作られた「馬路音頭」も、私が作詞しました。色んなことにチャレンジすることが元気の源です。年齢的にしんどく感じることはありませんが、続けられる限りがんばります」と話されていました。

市民の皆さんとともに作り上げるこのコーナーでは、紙面に出てくださる人を募集しています。老若男女、自薦、他薦を問いません。秘書広報課 ☎25-5003までお願いします。

市民力で 未来を拓く!

お父さんの倶楽部活動 de 6

まちづくり!

かめおかまの元気づくり プロジェクト

リーダー 松尾 清嗣さん

「かめおかまの元気づくりプロジェクト」は、2010年1月丹波亀山城修築400年を機に結成された、みんなの、みんなによる、みんなのための市民グループです。お父さんの倶楽部活動、よろしく緩やかな組織ながら、地域住民のふれあいや出合いの場づくりを、真面目に企画提案しています。ふれあい二八市、保津川寄席、京のおばんざいサロン、亀岡講演会、まちの元気づくり大学、まち歩きイベントなど、「明るく楽しく、徹底的に!」をモットーに、年間30程の事業を「元気」に展開中!

また、私たちのホームグラウンド、「安町ホームの家」では、住み開きサロンとして、保津川寄席や京のおばんざいサロンなどを定期的に開催。老若男女が集い、毎回「大騒ぎ」です! 他に、レンタルルームサービスもあり、多くの市民活動団体や公民館サークルなどの皆さんにも気軽にお使いいただいております。お陰様で、「まちの緑側」「みんなの集い場」「お父さんの隠れ家?」になりつつあることが、何よりの喜びです。

▲主な活動メンバー(ふれあい二八市周年祭にて)

遊・You・かめおか ~10月のイベント情報~

第40回全国育樹祭併催行事 国際森林シンポジウム(育林交流集会)

~植える、育てる、使う、そして植える~

10月8日(土) 正午~午後3時50分 入場無料

- 歓迎アトラクション 佐伯灯籠(人形浄瑠璃)
- みどりのメッセージ 飯塚帆南さん(ミス日本みどりの女神)
- 国際森林シンポジウム(育林交流集会)
 - 基調講演「これからの日本の林業・循環利用の実現に向けて」
 - 講師 皆川芳嗣さん(株)農林中金総合研究所理事長、元農林水産事務次官)
 - 事例報告・パネルディスカッション
- 定員 500人 ● ところ ガレリアかめおかコンベンションホール
- 主催 京都府・(公社)国土緑化推進機構
- 問い合わせ 京都府森林技術センター ☎0771-84-0365

アグリフェスタ2016

10月10日(祝) 午前10時~午後3時

芋掘り体験、かめまるコースターづくりなどを楽しんだ後は、亀岡牛のカレーや炭火焼き、犬甘野そばやつきたてもちのぜんざいなどで一息。「農」と「食」のつながりを楽しみ学びましょう!

● ところ 亀岡市農業公園(河原林町) ● 問い合わせ 農林振興課 ☎25-5036

亀岡祭

10月23日(日)宵々山
24日(月)宵宮
25日(火)本祭・山鉾巡行

室町時代に起源を持ち、京都府登録無形民俗文化財・亀岡市指定無形民俗文化財になっている亀岡祭。11基の華麗な山鉾が城下町を巡ります。

▲多くの人でにぎわう山鉾巡行(旅籠町)

● 問い合わせ JR亀岡駅観光案内所 ☎22-0691

市民活動推進フォーラム 「協働が進める市民活動」

10月15日(土) 午後1時30分~4時30分 参加無料

基調講演のほかに、分野ごとにワークショップを行います。

▲講師の新川達郎さん(同志社大学大学院教授)

● ところ 市役所1階市民ホール

● 問い合わせ かめおか市民活動推進センター ☎29-2703

健康いきいきフェスティバル 2016

10月30日(日) 午前10時~午後3時30分

生活習慣病予防と糖尿病をテーマに、健康に関するコーナーが盛りだくさん!

● ところ ガレリアかめおか1階ロビーギャラリー

● 問い合わせ 健康増進課(保健センター内) ☎25-5004

ハイ! 広報広聴係です

10月になりました。食欲の秋を迎え、まだ未体験の「チヨロギ」を食べてみたいと思っています。さて、亀岡の10月といえば、亀岡祭。毎年25日の本祭では、あの大きな山鉾をどのように方向転換させているのか、皆さんはご存じでしょうか。

祇園祭のように、車輪の下に竹を敷いて水をまき、車輪を滑らせて回るのではなく、亀岡祭の曳山は、軀体の中央に「回転軸」という部材が斜めに取り付けられており、辻回しの時にそれを地面に直角に立てて、軸にし、曳山全体をくるりと回しています。これは、亀岡祭ならではの特徵で、狭い道路を巡行する工夫といえます。ぜひ、皆さんもその瞬間を見てくださ。

(岡本)

広報クイズ

宮前町の特産物となっている身近な葉草は何でしょう

ヒントは、広報紙の中にあります。

締切日 平成28年 10月31日(月)(必着)

はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙「キラリ☆亀岡」の感想を書いて、〒621-8501(住所不要)市秘書広報課へ。

正解者の中から抽選で5人に図書カードを差し上げます。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

【前月の答え】『18』でした。たくさんのおはがき、ありがとうございました。



明智かめまる